

種雄候補牛「玉碇218」号の直接検定を開始

7月26日、碓高原牧場産の種雄候補牛「玉碇218」号の直接検定を開始しました。

直接検定は、16週間(112日間)にわたり牛の発育能力、飼料の利用性や種牛能力を評価するものですが、立会者である社団法人全国和牛登録協会からは、「発育に優れ、体に伸びがある。」と、種雄牛として望ましい評価を得るなど、成績に期待が持たれます。

なお、先に直接検定を実施した「貴船」号は、7月5日に検定を終了しています。



立会審査風景



玉碇218号(産地:京都府京丹後市)